

正負の数 2・加法と減法

2 減法 (その2)

(1/5) ■ 負の数をひく減法 ■

負の数をひく減法

★知識の整理★

* 「ひき算」は「たし算」で計算するの…?

(1) 8円持っていて, 5円もらった

$$(+8) + (+5)$$

(2) 8円持っていて, -5円とられた ←

$$(+8) - (-5)$$

「とられた」という言い方を, 「もらった」という言い方に変えます

8円持っていて, 5円もらった ←

$$(+8) + (+5)$$

* 同じ意味です
+は「得」
-は「損」
を表します。

* -5円とられると5円損がなくなるから, 5円もらったことと同じになります。

(マイナスは「反対の性質」を表す記号だからです。)

つまり, $(+8) - (-5) \leftarrow (-5)$ をひくことは,
 $= (+8) + (+5) \leftarrow (+5)$ をたすことと同じ

* 「-●円とられる」ことは, すべて「+●円もらう」ことにして
- +

計算するのですね。(損をとられると得をもらうことと同じ)

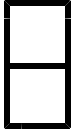
このように考えると, ひき算はすべてたし算になおして計算することができます。

●正負の数の減法●

負の数をひくことは, その数の符号を変えて加えることと同じです。

$$\begin{aligned} \square - (-\bullet) \\ = \square + (+\bullet) \end{aligned}$$

■ 正負の計算では, 「ひき算をしてはいけない」と覚えましょう。
いけないから, 式をたし算に直して, たし算をします。



正負の数 2・加法と減法

2 減法 (その2)

(2 / 5) ■ 負の数をひく減法 ■

- ●★解法の技術★の学習のしかた●—
- (1) 下の答案を理解し, 「考え方」を覚えましょう。／覚えたら, ……
- (2) 模範解答を見ないで, 「理解のチェック」の問題を解いてみましょう。
(答案を見ながら書くと勉強になりません。一度, 「考え方」を頭の中に入れることが大切です。)

★解法の技術★

次の計算をなさい。

(1) $(+8) - (-5)$

(2) $(+2) - (-5)$

(3) $(-2) - (-5)$

(4) $(-7) - (-5)$

【考え方】正負の計算では, 「ひき算をしてはいけない」。だから…

ひくをたすに直し, その後の数の符号も逆にしてたし算をします。

[考える手順]

[答 案]

1 たし算になおす

(1) $(+8) - (-5)$

$= (+8) + (+5)$

◀ひくをたすに直し後の数の符号も逆にする

2 ()内の数の和

$= +13$

◀+は合わせていくつかを書くかを書く

1 たし算になおす

(2) $(+2) - (-5)$

$= (+2) + (+5)$

◀ひくをたすに直し後の数の符号も逆にする

2 ()内の数の和

$= +7$

◀+は合わせていくつかを書くかを書く

1 たし算になおす

(3) $(-2) - (-5)$

$= (-2) + (+5)$

◀ひくをたすに直し後の数の符号も逆にする

2 ()内の数の和

$= +3$

◀+と-のどちらがどれだけ多いかを書く

1 たし算になおす

(4) $(-7) - (-5)$

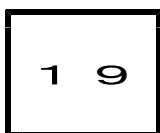
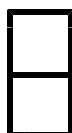
$= (-7) + (+5)$

◀ひくをたすに直し後の数の符号も逆にする

2 ()内の数の和

$= -2$

◀+と-のどちらがどれだけ多いかを書く



正負の数 2・加法と減法

2 減法 (その2)

(3/5) ■ 負の数をひく減法 ■

◇ 《負の数をひく》 **学力化** → /

----- ★理解のチェック★ -----

次の計算をしなさい。

(1) $(+8) - (-5)$ (2) $(+2) - (-5)$

(3) $(-2) - (-5)$ (4) $(-7) - (-5)$

【考え方】正負の計算では、「ひき算をしてはいけない」。だから…

ひくをたすに直し、その後の数の符号も逆にしてたし算をします。

[考える手順]

[答 案]

1 たし算になおす

(1) $(+8) - (-5)$

=

◀ひくをたすに直し後の数の符号も逆にする

2 ()内の数の和

=

◀+は合わせていくつかを書くかを書く

1 たし算になおす

(2) $(+2) - (-5)$

=

◀ひくをたすに直し後の数の符号も逆にする

2 ()内の数の和

=

◀+は合わせていくつかを書くかを書く

1 たし算になおす

(3) $(-2) - (-5)$

=

◀ひくをたすに直し後の数の符号も逆にする

2 ()内の数の和

=

◀+と-のどちらがどれだけ多いかを書く

1 たし算になおす

(4) $(-7) - (-5)$

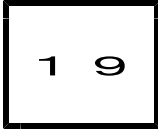
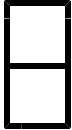
=

◀ひくをたすに直し後の数の符号も逆にする

2 ()内の数の和

=

◀+と-のどちらがどれだけ多いかを書く



正負の数 2・加法と減法

2 減法 (その2)

(4/5) ■ 負の数をひく減法 ■

◇ 《負の数をひく減法》 **学力化** → / ,

★演習★【1】

次の計算をなささい。

(1) $(+8) - (-6)$

(2) $(+4) - (-9)$

(3) $(-7) - (-2)$

(4) $(-5) - (-9)$

(5) $(-3) - (-3)$

(6) $(+8) - (-8)$

[答 案]

(1) $(+8) - (-6)$

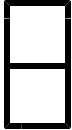
(2) $(+4) - (-9)$

(3) $(-7) - (-2)$

(4) $(-5) - (-9)$

(5) $(-3) - (-3)$

(6) $(+8) - (-8)$



正負の数 2・加法と減法

2 減法 (その2)

(5/5) ■ 負の数をひく減法 ■

◇ 《負の数をひく減法》 **学力化** → / ,

★演習★【2】

次の計算をなさい。

(1) $(+20) - (-15)$

(2) $(+35) - (-38)$

(3) $(-45) - (-81)$

(4) $(-62) - (-48)$

(5) $0 - (-80)$

(6) $(-123) - 0$

[答 案]

(1) $(+20) - (-15)$

(2) $(+35) - (-38)$

(3) $(-45) - (-81)$

(4) $(-62) - (-48)$

(5) $0 - (-80)$

(6) $(-123) - 0$